

英文法の基礎中の基礎の自動詞と他動詞、もう一度確認しておこう!

関係代名詞の後には不完全な文が来て、関係副詞の後には完全な文が来るって言われるけど、自動詞と他動詞の区別がつかなければ、文が完全かどうかは理解できない。自動詞と他動詞の違いをよく頭に入れて、どんな問題にも対応できる力を身につけよう。ただし、自動詞か他動詞かは理屈だけでは判断できないことも事実。本当に使える英語を身につけるには、音読をすることで英語を体にすりこませるしかない。

東進英語科講師・安河内先生による紙上講義!

英語を学び始めてすぐに出てくるのが、文型だね。第1文型はSV、第3文型はSVOだけど、この2つのちがいは何? もちろん、目的語Oがあるかないかだけど、後ろに目的語が来るか来ないかは、動詞によって決まる。第1文型をとる動詞が自動詞、第3文型をとる動詞が他動詞だね。つまり、自動詞は文が動詞で終わっていいもの、他動詞はその後に目的語の名詞がなくちゃ文にならないものだ。

The price of vegetables rose.
「野菜の物価が上がった」

後ろに何もなくても意味がわかる文になっているね。だからriseは自動詞だ。じゃあ次の文はどうだろう?

The sun rises in the east.
「太陽は東から昇る」

これはin the eastがついているけど、The sun rises.(太陽は昇る)だけでちゃんと文になっている。だからin the eastは文の主要要素ではなく、修飾語(M)で、この文も第1文型だね。
じゃあ、これは?

My grandmother raised five children.
「私の祖母は5人の子供を育てた」

raiseにはいろいろな意味があるけど、ここでは「育てる」の意味。この文では、「何を」育てるかが書かれていないと文が成り立たない。このように「相手」が必要なのが他動詞だ。だから、My grandmother raised.なんて文は成立しないわけ。

第1文型 S[名詞]+V[自動詞](+M[修飾語])

第3文型 S[名詞]+V[他動詞]+O[名詞]

さて、この知識が重要になるのが、入試最頻出項目の1つ、関係代名詞か関係副詞かを選ばせる問題だ。ここで、関係代名詞と関係副詞についてのルールを確認しておこう。関係代名詞というのは、その名の通り「代名詞」のはたらきを兼ねるものだ。だから、後ろに続く文は、その「(代)名詞」が抜けた不完全な文になる。目的格の関係代名詞であれば、目的語が抜けた文が来る。これに対して、関係副詞に続くのは、それだけで文章が成立している完全な文だ。

場所 where SV(完全)

物 which[that] SV〇(不完全)

東進英語科講師・安河内 哲也先生

「基礎から偏差値アップ」「有名大突破!」という超人気講座の名前どおり、数えきれないほどの受験生の偏差値を大改造、難関大へと送り込んでいる! わかりやすく合理的な教え方と将来も役に立つ本質的な語学学習へのこだわりで、受験生の信頼は厚い。著書は80冊以上、ベストセラー多数、発行部数のべ300万部突破、中・韓でも出版。TOEIC試験4技能(LRSW合計)1390点満点。通訳案内士。大手企業研修講師も歴任。授業は「英語が楽しくなる」と全レベルの受験生に大評判。



これを頭に入れたうえで、次の問題をやってみよう。

Spain is a country I want to visit someday.

① there ② where ③ which ④ what

(2013年 中央大学)

先行詞がa countryだからといって、場所を表す語を先行詞とする関係副詞②whereを選んだ人はいないかな? ここで問題になるのは、visitだ。visitは「～を訪れる」という他動詞だから、I want to visit someday. は、My grandmother raised. と同じように、目的語の欠けた不完全な文ということになる。そこで、空所には目的格の関係代名詞whichが入り、③が正解。

では、

The house () my friend lives is very attractive.

の空所に入るのは?

liveはもちろん自動詞だ。だからMy friend lives.は完全な文で、空所にはwhereを入れればいいね。ところが、このlivesの後にinが来て、

The house () my friend lives in is very attractive.

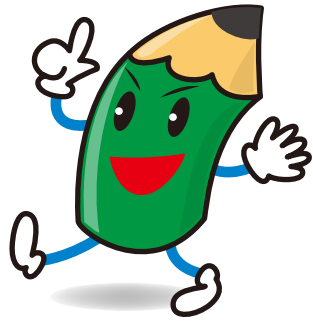
になったらどうなるか? My friend lives in. が不完全な文ってのはすぐわかるよね。前置詞の後に来る名詞、つまり前置詞の目的語が欠けているから、目的格の関係代名詞which(またはthat)が入ることになる。

では、裏面のチャレンジ問題演習で確認しよう。

裏面へ続く! ➡

チャレンジ問題

表面の解説をふまえて問題にチャレンジしてみよう。



Exercise!

Question 1

次の空所に入れるのに最も適当なものを選び。

India is a country I have always wanted to visit since my childhood.

- ① that ② where ③ wherever ④ whose

(駒澤大学)

[Translation]

「インドは私が子供のころからいつも訪れたいと思ってきた国です」

[Explanation]

これは、空所の後がちょっと長くなってんだけど、表面の問題とほとんど同じだね。visitは他動詞だから、空所の後、I have always wanted to visit since my childhood.は不完全な文だ。だから、目的格の関係代名詞が来ることになるけど、今回はwhichはない。そこで、先行詞が人でも物でも使える目的格の関係代名詞①thatが正解になる。

Question 2

次の空所に入れるのに最も適当なものを選び。

This is the house I was born in.

- ① where ② when ③ whose ④ which

(法政大学)

[Translation]

「これが私が生まれた家です」

[Explanation]

文末のinがポイント。I was born in. では文が不完全だね。だから関係代名詞の④ whichが正解。ついでに言うと、このinを関係代名詞の前に持ってきて<前置詞+関係代名詞>の形にすることもできる。さらに、問題文にもしinがなければ、空所の後はI was born.(私は生まれた)で完全な文が成り立つから、関係副詞whereが正解になる。つまり、

This is the house which I was born in.
= This is the house in which I was born.
= This is the house where I was born.
ということだ。

Question 3

次の空所に入れるのに最も適当なものを選び。

I have been to the place in his talk.

- ① where he spoke of ② where he spoke
③ that he spoke ④ which he spoke of
⑤ of that he spoke

(國學院大学)

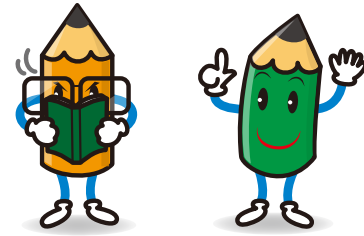
[Hint]

これはかなりの難題だけど、他の問題と同じく、関係詞節中のspeakという動詞がポイント。

「あなたは英語を話しますか」はDo you speak English? というから、speakは他動詞かな？ すると、③を選べば、関係代名詞thatの後にhe spoke in his talkという目的語の欠けた不完全な文になるから正解かな？

それとも、動詞には他動詞・自動詞両方使えるものもあるから、speakが自動詞として用いられているとすると、②を選べば関係副詞whereの後にhe spoke in his talkという完全文ができ上がるから、これが正解かな？

この問題は、形式上のことだけでなく、文章の意味もしっかり考えないと正解にはたどりつけない。その解答解説はwebで…。



解答と詳しい解説の映像を、東進ドットコムで限定公開中!

Web限定・安河内先生の特別解説授業はこちら!

www.toshin.com

東進

検索



東進ドットコムでしか観られない解説授業の映像を公開中!

ハッキリ言って合格実績が自慢です!! 大学受験なら、

TOSHIN TIMES
発行 東進本部
発行人 永瀬昭幸
本部 千180-0003 東京都武蔵野市 吉祥寺南町1-29-2
編集 株式会社ナガセ広報部
TEL:0422-44-9001
禁・無断転載

東進ハイスクール
0120-104-555

東進衛星予備校
0120-104-531

東進 検索 0120-104-531
東進公式 Twitter 東進公式 Facebook

172大学の過去問も閲覧可!!
東進ドットコムはケータイ・スマートフォンからもアクセスできます!